

取扱説明書

ZETA アドベンチャー ウインドシールド ラージタイプ CT125 '20-, TRAIL125 '21-

この度はZETA商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

下記の内容をよくご覧になり正しく作業を行ってください。

1.注意事項

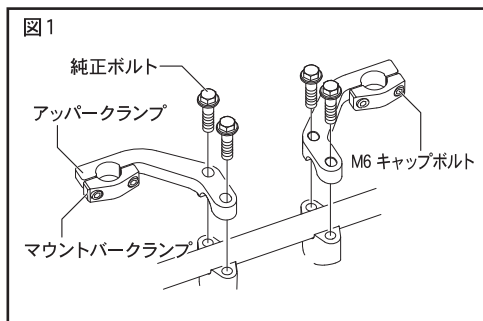
- ・作業には専門の知識と技術が必要です。不用意に作業を行うと思わぬ事故や故障の原因となる場合があります。
- ・製品に対し、加工・改造を行わないでください。事故や破損の原因になります。
- ・既に車両に装着されている純正部品以外の製品、部品等によって本製品と干渉して使用できない場合があります。

2.取付け方法

- 1) 純正アッパークランプを取外し、本製品のアッパークランプとマウントパークランプを仮組みします(図1)。

※ボルトは純正ボルトを利用します。

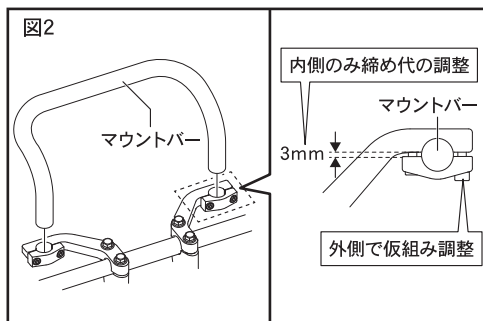
※既にアーマーガードが取付いている場合、アーマーガードマウント位置を微調整する場合があります。



- 2) アッパークランプにマウントバーを仮組みします(図2)。

※マウントバーが取付け難い場合、アッパークランプの取付けボルト、マウントパークランプのボルトを緩め取付けてください。

※マウントパークランプの締め代の調整をしておくと本締め作業がスムーズに行えます。



3) ハンドルを正常な位置にセッティングし、ワイヤー、ブレーキホース等の取り回しは、図3を参照してください。

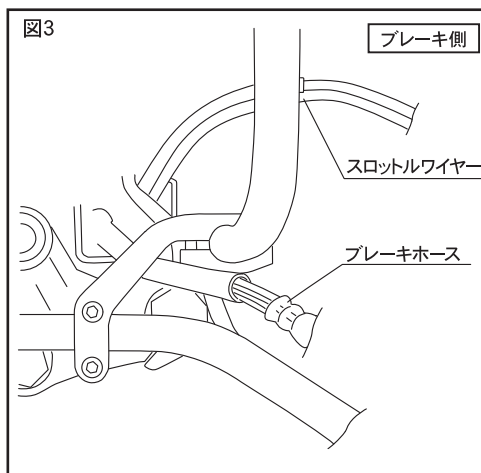
△【ご注意】

純正ハンドル、純正レバーポジションを取付け基準としています。純正以外のハンドルを使用している、又はレバーポジションを変更している場合、ワイヤ類、ブレーキホース、バンジョーボルトに強く干渉し、取付け又は操作に支障が出る場合があります、以下の調整が必要です。

■フロントブレーキバンジョーボルトの向きを調整
※必ずサービスマニュアルを参照しトルク管理をしてください。

■レバーポジションの角度、位置を調整
※レバーポジションに合わせワイヤーの取り回しを工夫してください。

■ハンドルの角度を調整



4) ハンドルポジションを最終決定しアッパークランプを本締めします、ボルトの締め付けは前方から締め最後に後方を締めてください。

5) マウントパークランプを本締めします、内側のボルトは工具が入り難い場合があります、その場合外側のボルトだけで本締めすることができます。

6) ハンドルをゆっくりと左右に切り、スロットルがスムーズに回転するか確認し、各ワイヤー、ホース類に負荷を与えてハンドル操作に支障がないか確認します。

7) マウントバーにスクリーンアダプター、スクリーンを取付けます(図4)。

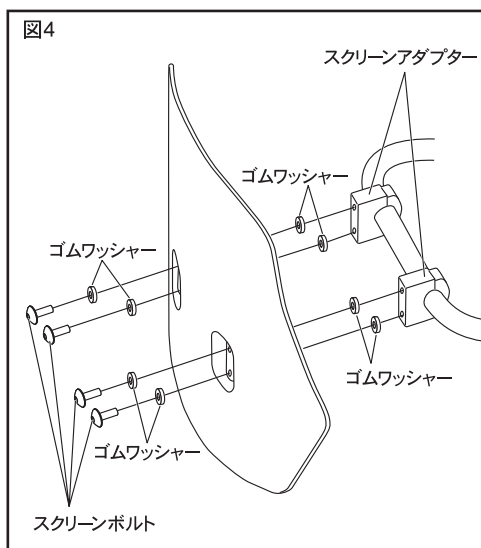
8) ハンドルをゆっくりと左右に切り、スクリーンが車両に干渉していないか確認してください。

9) スクリーンを取付けるとハンドル操作フィーリングが変化します、必ず試走行をし、視界を確認及び各部のガタツキ、ボルトの締め忘れ等が無い確認してください。

・スクリーンボルト等、定期的に緩みがないかを点検してください。

・ZETA アドベンチャーアーマーガードが取付け可能です。

・一度セッティングが終了したらアッパークランプを純正と交換又はマウントパークランプを緩めると簡単にスクリーンを外し、取付けができるようになります。



3.スクリーンの仕様

角度/高さ調整 ※車両により調整幅が異なります。

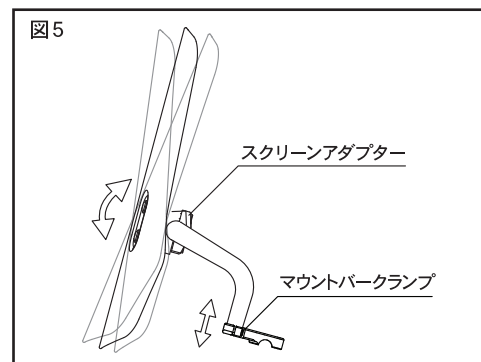
・スクリーンアダプターを緩めることにより簡単に角度を調整することができます(図5)。

・マウントパークランプを緩めることにより簡単に高さを微調整することができます。

※ワイヤー、ブレーキホースに干渉し高さ調整ができない場合があります。

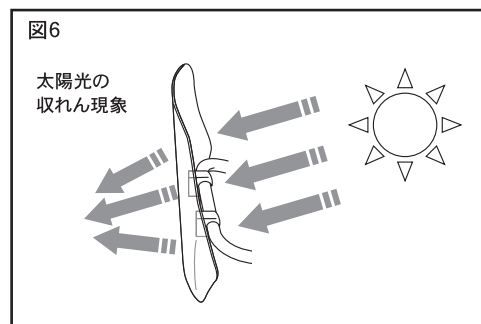
△【ご注意】

スタンダードスクリーンと異なり本製品付属のスクリーンは反転してご利用できません。



4.特記注意事項

スクリーン装着後、車体後方よりスクリーン部の内側に太陽光が直接あたる状態での駐停車は厳禁です。太陽光の収れん現象(図6)により発生した不具合や事故損害につきましてはいかなる場合でも当社では一切責任を負いません。



5.メンテナンス

- ・スクリーンを洗浄する時は、表面を傷付けないように、水又は、ぬるま湯をかけながら、柔らかい布又はスポンジで拭いてください。
- ・破損や傷、劣化により視認性が悪くなった場合、速やかに交換してください。

リプレースメントスクリーン	
スタンダードタイプ	ZE70-1900
ラージタイプ	ZE70-1901

6.マウントバー

- ・スマートフォンホルダー、ナビホルダー等を取付ける場合、ブレーキホースの動きに干渉しない位置に取付けてください。
※ブレーキホースの干渉より、機器を中央に取付けられない車両があります。
- ・マウントバーに機器を装着した場合、配線処理に付属のリリースタイラップ(2本付属)を利用してください。

株式会社 ダートフリース 〒489-0005 愛知県瀬戸市中水野町2-30